

園だより 8月号

年主題「ともに」

月主題

0歳児	ゆったりと
1・2歳児	ゆったりと
3歳児	祈りの中で
4・5歳児	祈りあう

二人、または三人がわたしの名によって集まるところには、
わたしもその中にいるのである。

マタイによる福音書18章20節

葉月（8月）を迎えました。昭和100年（戦後80年）の記念すべき年で
あり、8月はどうしても平和と戦争について考えざるを得ません。

過去の悲惨な出来事とは決して言えない現代の不安定な世界情勢の中に今います。

今の子どもたちが大人になる頃、そのまた子どもたちの時代、安心して生活し夢を掲げていけるような社会にしておく
ことは、今の時代を大人として生きている私たちの役目だと思うのです。憎しみや争いではなく、赦しと平和が実現
する世界となるよう祈りたい8月です。

7月は個人面談週間でした。その中で多く出た保護者のみなさんの困りごとの中に子どものかんしゃくをどうしたら
いいか、対応に迷っているという話がありました。少し一緒に考えてみたいと思います。

1歳～2歳の頃は自我が発達してくる時期であり、自分の考え、自分の思いを分かってもらいたくて自我を表出するこ
とに一生懸命になる時期です（わがままにも見えますがこれは成長の証です）。かと言って子どものしたい放題、言い
なりになってしまうのはかなり違います。年齢に見合った躾は大事です。今はこれはしてほしくないという時、子ども
が「嫌だ」と言う。「嫌」という気持ちは受け止めてあげましょう。「そうか、〇〇ちゃんはこれは嫌なんだ、それは
わかったよ。でも今は〇〇だから、今は〇〇はできません、また、明日しようね」などと、きちんと理由を伝えていく
こと、叱らずに大声でなく、例え子どもは地団駄踏むほどに騒いで反抗したとしても、大人側は冷静に対応しましょう。
子どものかんしゃくがどうしても強すぎて時間がかかり過ぎる場合は少し間を置く、距離を置くことも一つの方法です。
「わかった、少しここで泣いていいよ。泣き止んだらママ（パパ）のところにおいでね、待ってるよ」と。これは決
してネグレクトの対応ではありません。子どもにも一人で自分の気分を治める時間と空間が必要なことはあります。
この1～2歳児の頃の自我の発達の時期を上手に乗り越えることで子どもは自分の感情を自分なりにコントロールする力
も付きます。物等で子どもの気持ちを誤魔化さずに丁寧に向き合って行きましょう。

園長 犬童れい子

8月の主な行事

- 8月1日(金) キリスト教保育連盟園長会(園長)
合志市保育者研修会(夜)
- 8月5日(火) 未満児保育研修会(坂田)
- 8月7日(木) 年齢別研修会(三浦)
- 8月8日～8月16日 夏季特別保育期間
- 8月16日～17日 全国人権保育研究集会活動者会議
- 8月19日(火) 全国保育者養成研究大会(園長・高野)
- 8月20日(水) 8月誕生会
- 8月21日(木) 指導監査
- 8月26日(火) 保育問題セミナー(佐藤)
- 8月30日(土) 菊陽町保育者研修会(園長講師として)

